

環境省

オフセット・クレジット（J-VER）認証運営委員会 御中
（事務局：気候変動対策認証センター）

平成22年9月2日

温室効果ガス排出削減・吸収量認証依頼書

オフセット・クレジット（J-VER）制度利用約款記載のダブルカウントを回避するための措置を適切に執り行うことを誓約のうえ、下記の温室効果ガス排出削減・吸収量の認証を依頼いたします。

【依頼者】プロジェクト代表事業者			
代表事業者名	グリーンプラス株式会社(グリーンプラスカブシキガイシャ)		
住所	東京都目黒区三田 1-11-1-3F		
代表者氏名	飯田 泰介	代表者役職	代表取締役
担当者氏名	飯田 泰介	担当者 所属部署・役職	クレジット開発事業部 部長(兼務)
担当者 E-mail	t.iida@green-plus.co.jp	担当者電話番号	03-5720-5599



プロジェクト名	
プロジェクト名	北秋田地域振興事業における上小阿仁村 J-VER プロジェクト
プロジェクト登録番号 (4ケタ)	0031
プロジェクト登録日	H22年6月16日
プロジェクト概要	本プロジェクトは、森林施業計画に基づいた、適切な間伐の実施による対象森林の健全性を確保するとともに、CO2 吸収量の維持・増加を目的としている。J-VER クレジット発行による追加的資金により、持続可能な森林経営を実現し、それに伴う新規雇用の創出や低炭素化社会実現の一助とする。また、本プロジェクトは北秋田地域振興事業の一角に位置づけられ、秋田県では初となる本 J-VER プロジェクト対象地を使用し、J-VER 制度の更なる普及や周辺地域の経済活性化など、多面的な効果を発揮することを狙いとし、北秋田市、グリーンプラス(株)、内陸縦貫鉄道株式会社などとの協働による地域振興型間伐ツアー企画も本プロジェクトと連動して進められている(但し、プロジェクト対象施業計画に各ツアー実施日が適さない場合は施業計画を優先し、その際のツアー用間伐地は、大館北秋田森林組合が管理する森林から適した土地を選定する。また、一般の参加者が間伐を行うことで、施業が不十分になることを防ぐため、各ツアー終了時に組合が適切な形で後処理を行う)。
ポジティブリスト	NO. R. 001
方法論	森林活動による CO ₂ 吸収量の増大(間伐促進型プロジェクト)に関する方法論
モニタリング結果	
モニタリング期間	2008年 4月 1日～2010年 7月 31日
排出削減・吸収	年度
	2008
	2009
	2010
	2011
	2012

量	t-CO2	118.4	226.5	75.4	-	-
ダブルカウントの防止の措置						
ダブルカウントの防止の措置を講ずる事業者	グリーンプラス株式会社(グリーンプラスカブシキガイシャ)					
ダブルカウントの防止措置内容	グリーンプラス株式会社 HP や、CSR レポートにて、当該プロジェクトの内容及び当該プロジェクトから創出されるオフセットクレジット(J-VER)の発行量及び移転量を明記する。					
公的な報告・公表制度(判明している公的制度)	必要に応じ気候変動対策認証センター及び当該公約制度管理者に対して当該情報の提供を行う。					
自主的な報告・公表対象(対象となるホームページ、環境報告書等)	グリーンプラス株式会社 HP、CSR レポート					
ダブルカウント防止措置責任者						
事業者名	グリーンプラス株式会社 印					
住所	東京都目黒区三田 1-11-1-3F					
代表者氏名	飯田 泰介	代表者役職	代表取締役			
担当者氏名	飯田 泰介	担当者所属部署・役職	クレジット開発事業部 部長(兼務)			
担当者 E-mail	t.iida@green-plus.co.jp	担当者電話番号	03-5720-5599			
検証機関						
検証機関名	JACO CDM					
検証報告書発行日	2010年8月31日					
備考欄						

検証結果 (事務局記載欄)

検証結果	
クレジット認証番号 (7ケタ)	
<p>オフセット・クレジット（J-VER）認証運営委員会は、提出されたモニタリング・検証結果に基づき、_____ t-CO₂の排出削減・吸収量を認証し、オフセット・クレジット（J-VER）の発行量を決議する（内、バッファ分_____ t-CO₂とする）。なお、オフセット・クレジット（J-VER）登録簿上への発行手続きは事務局に一任する。</p>	

以 上